



2023年3月10日

各 位

会 社 名 三菱自動車工業株式会社  
代表者名 代表執行役社長 兼 最高経営責任者  
加藤 隆雄  
(コード：7211、東証プライム)  
問合せ先 IR 室長 佐々木 恵子  
(TEL. 03-3456-1111)

新中期経営計画「Challenge 2025」発表について

三菱自動車工業株式会社は、将来への更なる成長と次の時代にチャレンジする2025年度までの新中期経営計画「Challenge 2025」を発表しました。詳細は、添付のニュースリリースをご覧ください。

以 上

## 三菱自動車、更なる成長と次の時代に向けた新中期経営計画 「Challenge 2025」を発表

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、将来への更なる成長と次の時代にチャレンジする 2025 年度までの新中期経営計画「Challenge 2025」を発表しました。

本計画は、これまで行ってきた構造改革により筋肉質で機動的となった経営体質を基盤に、地域戦略の「選択と集中」と、全社で取り組んでいる「手取り改善活動」を継続したうえで、安定的な収益基盤を確立して参ります。また、これまで以上に研究開発費と設備投資を安定的に投じ、特に、電動化、IT 分野、新事業への支出割合を増やすことで、会社の持続的成長を実現します。

商品面では、地球規模の気候変動問題解決/カーボンニュートラル実現に向け、電動化を進めます。地域戦略は、従来の「選択と集中」を更に加速し、各地域の役割を明確化した上で経営資源を配分します。事業面では、バリューチェーン拡大を図ると共に将来の新たな収益源とするべく新事業へ挑戦します。また、三菱自動車らしい商品や技術を通じお客様との長期的な信頼関係を構築し、ブランド価値を訴求します。

本計画の主な取り組みは以下の通りです。

- ◆ 販売台数 110 万台、営業利益 2,200 億円(営業利益率 7%)を目標
- ◆ アセアン・オセアニアに経営資源を集中、台数・シェア・収益を拡大
- ◆ 今後 5 年間で 16 車種(内、電動車 9 車種)を投入
- ◆ 今後 6 年間で研究開発費・設備投資の総額を過去水準と比較して約 3 割増加  
(2026 年度以降は、電動化・IT/新事業への配分を約 7 割に引き上げ)
- ◆ カーボンニュートラルの実現に向け温室効果ガス排出削減
- ◆ 2030 年までに総額 2,100 億円を投じ、15GWh の電池調達
- ◆ 更なるアライアンスとの連携強化(OEM 商品相互補完 等)
- ◆ 自動車メーカー固有アセットを活用した新事業への挑戦  
(エネルギーマネジメント、バッテリーリユース、データ販売 等)

中期経営計画「Challenge 2025」の詳細については以下 URL をご覧ください。  
<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/investors/corpmanage/plan.html>

以 上

### 【お問い合わせ先】

広報部 企業広報グループ：井上、田中

代表 03-6852-4274

代表メール [press.mmc@mitsubishi-motors.com](mailto:press.mmc@mitsubishi-motors.com)